

[基本教育科目/人間力の養成]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
健康科学論	NLA11_007	必修	1	1	通年 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	「心身ともに健やかで活気に満ちた状態」である健康を維持するため、健康を損なって疾病に陥ることなく、健康増進を図ることは、現代を生きる社会人にとって欠かせない生活上のテーマである。本学は健康に資する学問分野として、理学療法、作業療法、福祉心理、看護の教育を担っている。この授業では本学の4学科の教員がオムニバス形式で、健康に関わる最新の学術的、または現場実践での話題を提供し、「健康を科学的に理解する」学びの素地を身に付ける。これらの内容について、メディア(Microsoft Teams)を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的な理解につなげる。				
学習上の助言	講座を通して、学科の枠を超えて、本学の各専門分野の全体像をつかんで欲しい。				
教科書	特に指定しない。教員が資料を準備する。				
参考書	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	健康の概念、医療について概要を説明できる。		HSU(1)~(3)		
②	人体の構造や機能について概要を理解し、説明できる。		HSU(1), (2)		
③	健康や看護およびリハビリテーションに関わる専門職について概要を説明できる。		HSU(1)~(3)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	オリエンテーション、電子顕微鏡による生物のマイクロ世界の観察について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：志茂聡]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
2	障がいや病気をもつ人々と私たちの健康について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：山田真衣]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
3	人々の健康生活を守る社会のしくみと看護の役割について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：山崎洋子]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
4	疾患生成論と健康生成論の比較を行いながら高齢者にとっての健康とはどのような状態なのかその構成要素を学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：三科貴博]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
5	疾患モデル動物や細胞を用いた創薬関連研究のプロセスを学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：田中将志]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
6	高次脳機能障害とそのリハビリテーションを学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：小沢健一]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
7	専門職とメンタルヘルス ～笑いの力を知ろう～ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：瀧口綾]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
8	専門職とメンタルヘルス ～自分を知ろう～ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：渡邊隆文]	同時双方向型授業	Teamsによる配布資料等での復習	4	
試	定期試験は行わない				

[基本教育科目/人間力の養成]

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	60	0	0	0	60
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	各回、講義内容の要約をリアクションペーパーとして提出する。				レポートの添削・評価
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：◎志茂 聡、山崎 洋子、山田 真衣、三科 貴博、田中 将志、小沢 健一、瀧口 綾、渡邊 隆文							
教員の実務経験 ：各教員は基礎医学、理学療法、作業療法、福祉心理、看護の分野の専門家であり、教育、研究および臨床経験が豊富である。 実践的授業の内容 ：この授業では、基礎医学をはじめ理学療法、作業療法、福祉心理、看護の専門家が、健康に関わる最新の学術的課題や臨床現場での実践および課題についての話題を提供し、受講者と一緒に健康を科学的に理解する思考を学んでいく。 Teams を使って遠隔授業を行います。 課題ダウンロード等がありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意して下さい。 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があります。							